

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	ビジネストレーニング 2	
科目基礎情報							
開設学科	ミュージックアーティスト科 コンサート・イベント科 音響芸術科		コース名		開設期	後期	
対象年次	2年次		科目区分	必修	時間数	30時間	
単位数	2 単位		授業形態	講義			
教科書/教材	必要に応じて資料を配布する。毎回前回講義のまとめを配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。						
担当教員情報							
担当教員	本多 功一			実務経験の有無・職種	有・舞台監督、コンサート制作		
学習目的							
職域が広いことが特徴でもあるミュージックカレッジの卒業後のフィールドにおいて、自分の可能性を広げていくためにイベント産業をはじめ、関連職種を就職先として理解していく。それぞれの職域においての業務を理解することを通じて、ビジネスの基本を理解していく。社会人として、十年後、二十年後の社会で求められるスキルをイメージして、求められる資質を理解する。またビジネスは体が資本でもあり、将来的に社会を形成していく中で情報として知っておくべきことと、知っておいたほうがよいことを合わせて理解する。今年度から施行されるはたらき方改革でなにが変わるのか、さまざまな法改正で社会生活がどのような変化があるのかを現実的に即して理解する。							
到達目標							
目的を達成するために社会人として企業からどのようなことが求められているのか、知識だけではなく具体的なスキルとして読み書きをはじめ考え方を理解すること、仕事に従事するために自分の特性を自分自身が理解すること、一社会人として生活をしていくための税制上のルールや関わる法律について理解する。大人としての日常生活や一般教養・一般常識を確認して理解することなどを目標とする。							
教育方法等							
授業概要	日常で起きている事象の中で、就職活動や卒業後の社会などに関わることを逐次取り入れ、その解説を加えていく。学生が社会に出たときに自分らしい考え方を構築し、多くの選択肢の中から適切な判断を下していけることを目標とする。知らなかったでは済まないことや、知っておくことで得をすることなどの情報を提供し、そこで判断をしていくための力を養成していくこと、つまり社会人スキルの獲得を目指すしていく。						
注意点	就職活動や卒業後の社会などに関わる要素が多いため、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	85%	授業目的を反映した試験により評価をする。単元時に実施する課題の内容、取り組み方、丁寧な表記、正確な文字を評価する				
	小テスト	0%					
	レポート	10%	単元のまとめとして得たことの理解度を評価する。試験の補完として実施する。				
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	5%	授業において他者に著しく妨害となる行為のみ減点する。				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	住宅の基礎知識			一人暮らし、礼金、敷金の返還など、不動産の基礎知識を理解する			
2回	就職活動3			業種別の志望動機例から就職活動がうまくいっていない学生を主に確認していく			
3回	危険な薬物			ドラッグの危険性について、医師や更生施設のコメントを紹介する			
4回	新聞			新聞から得られる情報について理解する			
5回	社会の仕組み3			トラブル対処と解決方法として、内容証明郵便、少額訴訟、和解斡旋の機関などを理解する			
6回	ビジネスマナー			接客時の対応、優先席次などを確認していく			
7回	命について			他殺や自殺など、命の重みを紹介していく			
8回	保険の仕組み			保険の種類から年齢に沿っての商品を紹介し、理解する			
9回	教育の歴史と仕組み			将来的に家族という社会を形成するしないに関わらず、教育についての基礎知識を得る			
10回	税金の仕組み			将来フリーとして、また納税の義務に基づき支払う税金について理解する			
11回	身近なルール2			相続など避けられないルールについて、基礎的な知識を得る			
12回	ストレスマネジメント			避けられない現在社会でのストレスを自分でコントロールする事例を紹介する			
13回	日本の歳時記			社会人として知っておきたい日本のしきたりや風習などを理解する			
14回	仕事をする			いろいろな社会人のコメントから、社会での希望を探してみる			
15回	総まとめ			社会人として知っておくべきことを中心にまとめる、社会で生きていくための要素を考察する			